

4

3 産業・観光

歴史と自然を育み
にぎわいと活力ある
産業を目指そう

6th Yuki City Master Plan
2021 — 2030

3 - 1 特色ある農業の振興と活性化 [農業]



● 現状と課題

本市では、肥沃な土地と温暖な気候に加え、首都圏に近接している立地条件にも恵まれ、米・野菜・果樹・畜産といった都市近郊型の多彩な農業が展開され、基幹産業に位置付けられています。

2005（平成 17）年から 2015（平成 27）年の 10 年間に農家戸数は微増しましたが、今後も地域農業を維持するため、地域の担い手となる農業者を確保し、育成していく必要があります。

また、離農者等の増加による耕作放棄地の発生を防ぎ優良農地を確保するため、農地法に基づく土地所有者への指導及び適正な処理を行うとともに、地域の担い手へ農地の利用集積を図り、効率的な経営が行えるよう農地の再整備を含むインフラ整備を行う必要があります。

さらに、人口減少や食の多様化、輸入農畜産物の増加などによる国産農畜産物の消費低迷は、農業者の所得の減少を招き、農業離れを助長する恐れがあります。このため、農業経営の安定化・合理化を支援する施策を通じ、農業者の生活の安定や若返りの促進を図るとともに、本市産農畜産物の販路拡大活動を積極的に展開し、消費者から選ばれる産地を目指していく必要があります。

● 基本の方針

本市の基幹産業である農業の健全な発展と市民の健康的な生活の基礎となる食料の提供のため、首都圏に近接した立地を活かしながら、魅力や強みのある「結城らしい農業」を推進するとともに、担い手となる農業者を中心とした農地の利用集積・ほ場整備や、高性能農業機械の導入による効率的な農業を推進するほか、農業者年金への加入促進等により若い農業者が安心して従事できる農業環境の整備と経営の安定化を支援します。

地域農業の支援のため、JAなど関係機関との連携を強化するとともに、本市産農畜産物の特性を活用した地域ブランド化と地産地消や販売促進、6次産業化*を推進するほか、農業に対する理解を深め、農村地域の活性化につなげるため、田植え・稲刈り体験や農産物の収穫体験など、農業の魅力を広める活動を積極的に展開します。

少子高齢化や自然環境の変化などによる耕作放棄地の拡大や担い手の減少、生産性の低下などの問題を解消するため、農業環境の保全や担い手の確保につながる、地域特性に応じた農業生産の基盤整備や就農機会の拡充を推進します。

● 施策体系・施策が目指す姿

1 活力ある産地の育成

首都圏への生鮮野菜の供給が可能な立地条件を活かしつつ、消費者ニーズに即した優良な農畜産物の生産とブランド化・6次産業化*を推進することで他地域との差別化を図り、活力ある産地を形成します。

2 担い手農業者の確保・育成・支援

青年就農者や新規就農者に対し、栽培技術の習得や機械の導入などきめ細かな支援を行い、国・県における各種施策を活用しながら、地域の担い手となる農業者の確保・育成を図るとともに、優良な耕作条件を有する農地を、地域の担い手を中心に集積を促進し、農業経営の大規模化を推進します。

3 農村環境の保全

持続的な農業が行えるよう、減農薬、減化学肥料を推進するとともに、農業地域が持つ自然環境を保全し、良好な景観形成など多面的な機能を適切かつ十分に発揮できるよう、農地の有効活用を推進します。

● 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市農業振興地域整備計画	2022年度（令和4年度）～ ※策定予定	農政課
結城市森林整備計画	2017年度（平成29年度）～ 2026年度（令和8年度）	農政課



○多彩な農産物を生産



○地元農産物の消費拡大

● 個別施策・主要事業

1 活力ある産地の育成

新規需要米*や戦略作物*の生産を推進し、米価の安定と大規模普通作経営の安定に向けた支援を行います。

また、JAや関係機関と連携しながら園芸作物生産を振興するとともに、市内外イベント等におけるPR活動や6次産業化*・農商工連携の取組を推進し、本市産農畜産物の認知度向上や消費拡大に向けた支援を行います。

さらに、本市農業への関心を高めるため、地産地消や食農教育、田植え・稲刈りや野菜の収穫等の農業体験など、農業の魅力を広める活動を展開します。

併せて、家畜の感染症予防や、発生した際の蔓延防止、畜産経営の安定に向けた支援を行います。

● 重点事業

主
要
事
業

○ 農業再生対策事業【農政課】

主食用米過剰作付け解消奨励金、新規需要米*奨励金、担い手育成支援対策事業、経営所得安定対策等推進事業の実施

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
転作率	126%	100%

● 農畜産物販売促進事業【農政課】

地産地消及び販売促進の推進、6次産業化*・農商工連携の取組支援、結城ブランド認定推進、都市・農村交流の推進

農産物販売促進活動回数	10回/年	13回/年
-------------	-------	-------

○ 畜産業振興事業【農政課】

家畜防疫事業、畜産環境対策事業の実施

豚オーエスキー病ワクチン接種戸	8戸/年	3戸/年
-----------------	------	------

2 担い手農業者の確保・育成・支援

若い就農者など地域の担い手となる農業者を実質化された人・農地プランに基づき確保・育成するため、認定農業者や集落営農*組織が農業経営に必要な設備等を導入する費用の補助や、認定新規就農者が安定した経営を図るための助成を行います。

また、農業の成長産業化を目指し、地域内の農地を対象経営体に貸し付けする農地所有者等への協力金の交付を行います。

3 歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう

3-1 特色ある農業の振興と活性化

主要事業	● 重点事業		
	指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
	● 認定農業者等育成事業〔農政課〕 農業経営基盤強化資金利子助成事業、集落営農* 推進事業、農業次世代人材投資事業の実施	認定農業者数	254人
○ 農地中間管理事業〔農政課〕 茨城モデル水稲メガファーム育成事業の実施	育成経営体 経営面積	77ha	100ha

3 農村環境の保全

有機肥料*を活用した土づくりや、適期一斉防除をはじめとする減農薬栽培の普及を推進します。

また、地域の農地利用の最適化や規模拡大による農業経営の効率化を図るほか、農業生産基盤施設としての農道の舗装化や拡幅整備を進めます。

主要事業	● 重点事業		
	指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
	○ 園芸振興事業〔農政課〕 環境にやさしい農業の推進	廃プラ回収数量	203t
○ 農業振興事業(農林航空防除事業)〔農政課〕 無人ヘリによる水稲の広域的な防除作業	散布面積	641ha	650ha
○ 農地集積・集約化対策事業〔農政課〕 農地中間管理事業による農地集積	機構を通しての 賃貸借面積	207ha	230ha
○ 農道整備事業〔農政課・土木課〕 野菜産地を中心とした農道の整備	舗装延長	18.1km	20.6km
○ 畑地帯総合整備事業〔農政課〕 畑地帯総合整備事業(武井地区)の推進	進捗率	5.7%	95.6%
○ 土地改良事業〔農政課〕 農家や施設管理者等が行う維持管理事業への補助	(多面的機能支払) 認定面積	73.2ha	82.4ha

3-2 活力と創造力を育む商工業の振興 [商業/工業/地方創生]



● 現状と課題

本市の商業はJR結城駅北側を中心に発展し、かつては茨城県西地域有数の商業都市として繁栄しましたが、車社会や情報化の進展に伴い、市民の消費行動が郊外型に変化したことから、特に北部市街地での衰退傾向が顕著となっています。

そのため、北部市街地の活性化対策として、空き店舗活用者に対する支援制度を実施していますが、支援期間終了後に撤退するケースも見受けられるため、2015（平成 27）年度からは創業支援事業とセットで事業を展開しています。

工業については、圏央道の開通や五霞インターチェンジ等の開設、日野自動車古河工場の全面稼働などの効果もあり、結城第一工業団地を中心に堅調な企業進出が続き、さらなる産業拠点の形成を検討する必要があります。

これらの状況を踏まえ、市では2015（平成 27）年度に「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、若い世代の起業希望者を中心とした新しい働き方の提案や雇用基盤の充実、起業支援の推進などに取り組んできました。

活力あるまちづくりを進めるためには、雇用の場を確保することが最優先となることから、引き続き地域経済の活性化を図るとともに、ふるさとへの就労希望者や新たな転入希望者の受入れ強化を含めたUJIターン*への対応が求められています。

● 基本の方針

商業においては、多様化・個性化など消費者のライフスタイルやニーズの変化に対応するため、既存商店街と国道 50 号沿線の商業施設との共生・機能分担による商業の振興を進めます。

また、中心市街地の活性化を図るため、商業機能の再生や多様な都市機能の集積を図り、若者の起業を支援することで空き店舗を減少させるとともに、神社仏閣や見世蔵*などの歴史的な街並みを活用した商業振興を進め、まちのにぎわいの創出に努めます。

工業においては、社会経済情勢や労働環境などの変化に対応しながら、本市の経済を支える工業の活性化を図るため、既存企業の経営基盤の強化を支援するとともに、新たな産業の創出に取り組みます。

また、地域経済基盤の強化のため、交通利便性に恵まれた立地を最大限に活用しながら、新たな産業拠点の整備や、魅力的な企業の誘致を進めるとともに、産学官の交流等により地域産業を支える人材の育成や技術の向上を図ります。

さらに、地方創生*推進事業と連携を図りながら、若者のニーズに対応した柔軟な働き方や、仕事の創出、これらを支える人材や組織の育成に取り組み、地方創生*の推進を図ります。

● 施策体系・施策が目指す姿

1 活力ある地域産業の振興

個性あふれる地域産業の育成、地元商業者への支援、空き店舗活用の推進、地域に貢献する企業への支援などにより商工業の振興を図ることで地域経済の活性化を目指します。

2 中心市街地の活性化

宿泊施設や商業施設、各種団体等と連携しながら、既存店舗・商業関連施設の利便性向上と充実、北部市街地の空洞化抑制と拠点店舗づくり、各種イベントの支援などにより、中心市街地としてのにぎわいを取り戻し、魅力あふれる商業空間を創出します。

3 健全な消費生活の確保

消費生活における苦情や相談に専門の相談員が助言できる体制を充実させるとともに、消費者啓発活動や生活に関する情報の提供により、安心できる市民生活を目指します。

4 企業支援の推進

雇用の場を確保するとともに、地元工業の発展と地域活力の創造を図るため、工業団地等の産業拠点の整備と企業誘致を推進する等、工業の振興を図り、地域経済の発展と雇用機会の拡大を目指します。

● 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市商業観光振興計画	2019年度（令和元年度）～ 2024年度（令和6年度）	商工観光課

● 個別施策・主要事業

1 活力ある地域産業の振興

市内の商工業者の振興発展を図る結城商工会議所と連携し、各種融資や相談事業等の充実を図るほか、地元企業の育成を行います。

また、若者が働きやすい環境や交流機会をつくることにより人材の育成を図るとともに、企業の人材確保支援及び若者の就業支援の施策を実施し、地域経済の発展、若年層等の雇用促進及び定住化を図ります。

● 重点事業

主要事業

○ 商工業振興事業 [商工観光課]

商工会議所が行う地域商工業の振興に関する事業への支援等

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
商工会議所 会員数	1,321社	1,350社

○ 中小企業資金融資対策事業 [商工観光課]

市内中小企業者に対する事業資金の融資等

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
自治金融 審査件数	34 件/年	50 件/年

● 雇用促進対策事業 [商工観光課]

高校等と市内企業との就職情報交換会、雇用促進対策セミナーなどの実施

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
就職情報交換会 参加企業数	36 社/年	40 社/年

2 中心市街地の活性化

中心市街地の活性化を図るため、活性化関連事業を実施する団体への支援を積極的に行います。

また、起業・創業希望者に対するセミナーの開催や、街並みににぎわいをもたらすための空き店舗活用の募集、活業者への助成を有機的に行うことで北部市街地の活性化を図ります。

● 重点事業

主要事業

● 中心市街地活性化事業 [商工観光課]

中心市街地の空き店舗を活用した創業者への支援に係る改修費の補助、起業・創業に関する各種支援、創業支援セミナーの開催

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
支援セミナー 受講者数	69 人/年	100 人/年

● 地域おこし協力隊事業 [企画政策課]

地域おこし協力隊による北部市街地の活性化及び地域活動団体の機能強化

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
協力隊事業数	—	3件/年

3 歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう

3-2 活力と創造力を育む商工業の振興

3 健全な消費生活の確保

広報紙、ホームページ、リーフレット等による啓発と情報提供、イベントや出前講座の開催などにより、消費者被害防止を目指します。

また、相談員の研修会、学習会への参加支援、弁護士による消費者問題学習会の開催などにより、相談業務の充実を図ります。

● 重点事業

主要事業

- 消費生活センター運営事業[商工観光課]
消費生活センター*の運営支援

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
相談件数	291件/年	300件/年

4 企業支援の推進

企業に対する優遇制度の充実や新たな優遇措置の検討により、企業誘致を促進するとともに、工業団地の整備等により、新たな産業拠点整備を推進します。

● 重点事業

主要事業

- 企業誘致促進事業 [商工観光課]
事業所を新設または増設した者に対する奨励金の交付

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
交付件数	16件/年	16件/年

- 工業団地整備推進事業 [商工観光課]
新工業団地の整備促進

新工業団地整備状況	未着手	分譲開始
-----------	-----	------



○空き店舗の活用事例



○結城第一工業団地上山川北部地区



● 現状と課題

結城紬は、1956（昭和 31）年に平織が国指定重要無形文化財*に指定され、2010（平成 22）年にはユネスコ無形文化遺産*にも登録された本市の代表的な地域資源*ですが、近年は生産反数や生産従事者が減少しており、後継者育成や販路拡大などの課題を抱えています。

結城紬以外にも、本市には桐製品をはじめとした伝統工芸品や物産品、農産物、また、古くから城下町として栄えた面影を残す町割り、見世蔵*、神社仏閣等が点在する趣のある街並みなど、多くの地域・観光資源を有していますが、これらを十分に有効活用しきれていないという面もあり、全国的な知名度や観光入込客数が伸び悩んでいます。

観光誘客を図るためには、受入れ施設等のハード整備に加え、おもてなし体制等の人材育成が必要となりますが、行政・事業者・市民・観光協会関係団体等の連携が十分とは言えず、本市が持つ魅力を最大限に発揮できていない状況もあります。

このような中、市のイメージアップと観光客の増加を図るため、様々な地域資源*をブランド化してPRする結城ブランド*事業や、マスコットキャラクター「まゆげった」を活用して本市の魅力を内外に発信するシティプロモーション*事業などの取組を継続しています。

● 基本の方針

北部市街地の蔵造りの街並みや神社仏閣、伝統産業、農業体験などの豊かな地域資源*を活用し、イベントの開催や交流拠点の整備とネットワーク化、市内を回遊する観光ルートの整備を推進することで国内外からの交流人口を拡大し、にぎわいを創出するなど、結城ならではの観光振興を進めるとともに、旧市庁舎跡地についても、北部市街地や商店街の振興・活性化に資するための多角的な施設の整備を検討します。

また、市商業観光振興計画に掲げた観光施策の実現や宿泊施設の整備に向け、各種まちづくり団体や観光団体との連携促進、観光客の受入体制強化、観光経営の視点に立った観光地域づくりをマネジメントする結城版観光地域づくり法人（DMO）の設立を検討するなど、「稼げる観光」の推進体制を充実させるとともに、近隣市町と連携したフィルムコミッション*の推進により、知名度やイメージの向上を図ります。

さらに、結城紬をはじめとする伝統産業や、本市が誇れる伝統工芸品の技術を守り、次代に伝承していく後継者の育成に努めるとともに、体験型のイベントによる観光への活用や、新商品の開発による新規需要の開拓を支援し、伝統産業の振興を進めます。

加えて、まちの魅力・個性を内外に発信するシティプロモーション*を推進することで郷土愛を醸成し、さらに、多様な形で関わる関係人口*の拡大・深化に努め、移住定住に繋がる人材の獲得を目指します。

● 施策体系・施策が目指す姿

1 地域資源を活用した観光の振興

歴史、文化、自然、人など地域の資源を有効に活用した観光の振興を進め、市外から人を呼び込み、交流人口の増加と地域のにぎわいを高めるとともに、観光客をもてなす心を醸成するなど観光受入体制の充実を目指します。

2 シティプロモーションの推進

本市が持つ地域資源*やまちづくりのための施策を効果的に発信し、移住・定住を促進します。

3 伝統産業の振興

伝統文化の普及施策や新商品の開発などにより、本市が誇る結城紬や桐たんす、桐下駄など伝統産業の活性化と後継者の増加・育成を図り将来にわたる生産技術の伝承と安定した産地づくりを目指します。

● 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市商業観光振興計画	2019年度（令和元年度）～ 2024年度（令和6年度）	商工観光課
本場結城紬振興計画	2021年度（令和3年度）～ 2026年度（令和8年度）	商工観光課

● 個別施策・主要事業

1 地域資源を活用した観光の振興

観光物産センターの運営、各種イベントの開催など地域資源を活用した観光の振興を図るほか、結城蔵美館を交流拠点として活用し、観光誘客を進めます。

また、観光協会が開催するさくら祭り、祭りゆうき等のイベント・祭事や観光情報の発信を支援するとともに、催事の見直し、協会会員の確保、組織強化、自立支援を行います。

さらに、市商業観光振興計画に基づき、観光客向け店舗・施設の増加、入込数や滞在時間の増大、各種まちづくり団体との連携促進などにより「稼げる観光」の推進体制を充実させるとともに、観光情報発信の高度化や観光ボランティアガイド協会等の組織体制を強化することで観光客の受け皿の拡充を図ります。

加えて、本市を舞台とするCM撮影等の誘致を推進し、全国的な知名度の向上とイメージアップ、市民の郷土愛の醸成、交流人口の増加、経済活動の活性化を目指します。

● 重点事業

主要事業

● 観光振興事業 [商工観光課]

観光協会への支援、フィルムコミッション*の推進

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
協会実施イベントの精査・調整	—	実施

● 観光情報発信事業 [商工観光課]

観光パンフレット・デジタルマップの作成等
観光情報発信の高度化、大河ドラマと連携したPR

観光入込客数	53.3万人/年	57.0万人/年
--------	----------	----------

○ 結城蔵美館運営事業 [商工観光課、生涯学習課]

結城蔵美館を活用した観光誘客

来館者数	22,140人/年	25,000人/年
------	-----------	-----------



○きもの day 結城



○祭りゆうき

3 歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう

3-3 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進

2 シティプロモーションの推進

北部市街地の街並み・伝統産業などの歴史的な地域資源や、結城駅南から北西部地域に広がる良好な住宅街、市中央に位置する工業団地、南部の農業エリアなど本市が有する地域資源については、マスコットキャラクターなどを活用しながら積極的にPRすることで、移住・定住の促進と関係人口*の創出を図ります。

また、本市が誇る結城紬や地域に由来した菓子、農産物等を結城ブランド*に認定し、結城らしいライフスタイルと併せてPRを展開することで、対外的な認知度アップを目指すとともに、市民の郷土愛の醸成を図ります。

● 重点事業

主要事業

● シティプロモーション事業 [秘書課]

まちの魅力を発掘・創造し、市内外の人にPR活動やSNS*を通して発信していく

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
Twitter インプレッション	705,700件 /年	1,500,000件 /年

● 結城ブランド推進事業 [秘書課]

地域資源や特性を活かした魅力ある特産品を結城ブランドに認定し、その魅力を市内外に発信、PRし活性化を図る

推進活動数	10回/年	10回/年
-------	-------	-------

● 移住・定住促進事業 [企画政策課]

移住・定住相談窓口の設置・運営、トライアルワークステイの開催、企業合宿の受け入れによる企業誘致活動の実施、IT人材の育成、若者の居場所づくり等

関係人口 形成者数	—	500人
--------------	---	------

3 伝統産業の振興

伝統産業の振興のため、各種PRや後継者育成を推進します。

結城紬については、きもの貸出や地機織り実演、作品展、きもの day 結城、ユネスコ無形文化遺産*登録記念事業等の開催によるPRを行うほか、技術習得を志す者に対する助成を行います。

● 重点事業

主要事業

● 本場結城紬振興事業 [商工観光課]

結城紬生産振興のため、結城紬関連団体に対する補助金の交付

指標名	現状値(R1)	目標値(R7)
補助団体数	6団体	6団体

